

# かるたで「がん予防」

松原高3年の7人学ぶ

かるたでがん予防の知識を学ぶ松原高  
校の生徒たち―松原市三宅東3丁目



がん予防の知識をかるたで学ぶ授業が28日、松原市三宅東3丁目の府立松原高校であった。大阪樟蔭女子大学学芸学部鈴木朋子准教授（健康教育学）のゼミ生が昨年、府立成人病センターの監修を受けてつくったかるたに、同校3年の7人が挑戦した。

「大阪は低いよ検診受診率」「どこのがん？部位で異なる生存率」

ゼミ生がかるたを読み上げると、生徒たちは手書きのイラストが描かれた縦

約15センチ、横約10センチの札に勢いよく手を伸ばした。その後、「どうすればがん検診率が上がるか」などをテーマに議論。「近くの学校で検診を受けられるようにする」などの意見が出た。

友人をがんで失い、看護師を目指しているという橋本知佳さん（17）は「大阪市住吉区长居東3丁目」は「イラスト入りのかかるたで分かりやすく勉強できた。学んだ知識を将来生かしたい」と話した。

（吉川喬）